



リハビリテーションだより 12月号



～当院のリハビリテーション機器紹介～

リハビリテーションを効果的な治療を行うために、色々な機器を使用することがあります。これらの機器は、患者様の回復を促進し、機能の改善を目指すために設計されています。

今回は、当院で使用している“免荷式歩行リフト POPO”をご紹介します。

●免荷式歩行リフト POPO とは

体重を免荷しながら使用できるコンパクトな歩行器です。

歩行訓練をサポートし、安全で快適なリハビリテーション機器です。



株式会社 モリトー POPO Li REH-100/LIV-100 取扱説明書より

特徴

- ・ 自立して歩行するための支援を目的とした歩行補助機器です。
- ・ 体格差があり介助量が多い方に対し、介助量が軽減できます。
- ・ 体重を支えて歩行できるため歩行の際の恐怖心を軽減できます。
- ・ 免荷機能があり転倒せずに歩行が可能です。

対象疾患

- ・ 脳血管疾患(脳出血・脳梗塞)や脊髄損傷などによる運動麻痺がある方
- ・ 変形性膝関節症などにより歩行時に痛みがある方
- ・ 下肢の骨折などにより免荷制限がある方
- ・ 廃用症候群などにより筋力低下があり歩行が不安定な方

実際使用している場面



●使用した患者様の感想例

- ・ 身体が少し持ち上がる感じ
- ・ 足がすいすい進む
- ・ 歩いても疲れにくい
- ・ 歩いている実感がある

●免荷式歩行リフト POPO の効果

様々な症状に使用され改善されているので紹介します。

- ロコモティブシンドロームの方に使用し、歩行速度が改善できた
- 運動失行がある脳卒中両側麻痺の方に使用し歩行能力が改善できた
- 重度急性期脳卒中患者に対し早期立位や歩行訓練ができた

当院では免荷式歩行リフト以外にも超音波治療器や低周波療法など
医師の指示のもとに使用しリハビリテーションを行っています。

参考文献

- ・ 荷式歩行器(POPO)での歩行訓練による歩行速度の変化-ロコモティブシンドロームを対象とした研究- 田中啓太ら
- ・ 免荷式リフト POPO を使用した歩行練習により運動失行を有する脳卒中両側麻痺患者の歩行能力が向上した一症例 久賀紘和ら
- ・ 中等度および重度急性期脳卒中患者の早期立位・歩行練習における体重免荷式歩行器使用に関する経過 徳田和宏ら